令和８年度　第２回　城北小学校運営協議会　会議録（要点記録）

１　開 催 日 時　　令和８年６月25日（木）　14時10分から15時30分まで
２　開 催 場 所　　城北小学校　会議室
３　出 席 委 員　　大谷　好律、袴田　泰哲、山崎　えみ子、加藤　剛士、中川　智博
　　紙上　理恵、高田　あゆみ、石坂　紀子
４　欠 席 委 員　　なし
５　オブザーバー　　岩井　弘美子（学校運営委員会前会長）、井下　俊輔（青少年の家）
６　学　　校　　山下　淳（校長）、古橋　麻紀子（教頭）、太田　礎子（教務主任）
　　土屋　祥代（研修主任）、田村　静（ＣＳディレクター）
７　教育委員会　　山本　美世絵（学校・地域連携課）
８　傍　聴　者　　なし
９　会議録作成者　　ＣＳディレクター　田村　静
１０　議長の選出

教頭より、議長の選出について意見を求めたところ、大谷会長から中川委員を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議無くこれを承認した。

１１　協 議 事 項

（１）「城北小学校の教育」について

・本年度の学習の重点「主体的に学習に学ぶ態度」（研修主任：土屋教諭）

（２）学校評価の評価項目について

１２　会 議 記 録

教頭より、委員総数８名のうち７名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（２）学校評価の評価項目について

議長の指示により、別紙資料に基づき、教頭から学校評価の評価項目についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

・学校外においても、子どもたちから声を掛けて貰いやすいような環境を作りたい。顔を憶えて貰えば、学校では言えない相談事を受けられるような仲になり、いじめも減るかもしれない。（山崎委員）
・いじめの認知ケースは22件。重大事項は１件も無く、学校はいじめを未然に防ぐことができたといえる。これを地域に広げることで、平和な小学校が維持できる。（中川委員）
・子どもの自主性を主体として教育することは非常に良い。楽しいことは自然と認識し、継続して取り組むことが出来る。子どもたちが何に対して楽しいと感じているのかを時間をかけて取り組むと良い。（袴田副会長）
・項目15では、保護者と子どもの約１割が完璧に出来ていないと感じている。（加藤委員）
・認識の違いを前提として考慮すべき。特性上難しい子にとっては、苦しいように思える。（大谷会長）
・ひまわり学級など、子どもの特性を生かしていく意味で、より柔軟に回答出来ると良い。（中川委員）
・子どもを通して学校内の状況が見えづらく実態が分からないので、回答に困る項目もある。項目12・13はもう少し分かりやすいと良い。１年生と６年生では項目ごとのイメージが異なるので、結果としてどのように評価するのか。（石坂委員）
・項目10・12・13は特に低学年には難しい質問。対象者を３年生以上に絞るなど、１・２年生にも答えやすいようにして貰いたい。まずは学校を楽しむことが目標なので、工夫が必要。（高田委員）

→タブレットにて回答している。1・2年生には先生方が噛み砕いて説明している。（教頭）
・低学年の理解が追い付かず、評価が下がった可能性もある。（中川委員）
・保護者による学校目標の理解・把握がアンケートの回答にどこまで反映されているかはわからないが、文字で書かれていることによって、意識付けを促進できているように思える。（紙上委員）
・今年は去年より主体性・協働・多様性を積み上げているので、その年々の力点によって評価項目のウエイトを変えても良い。専門用語が多く使われているので、保護者や生徒にも分かりやすいよう、今年の重点や焦点を整理して修正して欲しい。（岩井さん）

（1）「城北小学校の教育」について
本年度の学習の重点「主体的に学習に学ぶ態度」について、研修主任の土屋教諭より説明があり、委員からは以下の発言があった。
・アクト建設での講義は、学校で学ぶ内容とは異なる視点だった。子どもたちが分かりやすい目線で話をしていた。（紙上委員）
→今まで積み上げてきた知識を繋げていく、楽しい学びの一歩だった。（土屋教諭）
・仕事や生活の中での身近なことや、関心があることの仕組みを学んでいけば、興味が深まる。生活に近い部分において、地域と学校との距離が縮めば、子どもとの距離も縮まる。（大谷会長）
・先生が伴走し、子どもたちと一緒に進んでいく感じが授業から見受けられた。手を差し伸べてもらう力・差し伸べられる力を小学校の段階から自然と身に付けていけば、将来困る大人が少なくなるのではないか。（山崎委員）
・今の社会に沿った授業をしていると感じた。社会で生きていく上での力を少しずつ育てながら知識を得ていけば、将来役に立つと思う。（高田委員）
・自分で考えたことが認められると楽しさに繋がる。（石坂委員）
・賑やかな印象の授業が多く、楽しそうな雰囲気だった。仕事において実践している、主体・協働・多様性（意見を出す・話し合う・発表する）を子どもの頃から取り組んでいるので、凄いと思う。（加藤委員）
・良いと思ったことを真似て自分のものにして学ぶ方法は、子どもにも分かりやすく伝わりやすい。生徒がやりたいと思えることが必ず見つかると教えて貰いたい。（袴田副会長）
・地元と共にある学校、主体的に学ぶ学習への方向転換、地域で子どもを育てるという意識が、保護者を含め末端まで浸透してきている。（中川委員）
・社会や公共の施設ではどのように過ごすのが礼儀で適切かということを、学校任せではなく、我々が子どもたちに指導していく状態を作りたい。地域が一層、子どもの成長に携わりたい。（井下さん）
・主体的な授業に変えようという教員の意識や心意気が良い。主体的な学びが深い学びに繋がっていて嬉しい。子どもたちが気付いたことから取り組み、皆と交流して深い学習へと通じていく。教員が事例を沢山提示すれば、主体的な学習に結実する。今後の家庭学習について、様々な方法や具体例を発表・公表して保護者へＰＲするなど、地道な連携が大切。（岩井さん）
→家庭学習においては、一年がかりの計画で取り組んでいる。発達段階に応じて、6年生で確実に出来るようにと考えている。（教頭）
・行政においては、数字で評価することが多い。ただ、数字だけだと人に伝えるのが難しい部分がある。付属資料を付けるなど、来年度に向けての学校評価項目の検討をして貰いたい。（山本さん）

その他報告事項等

（１） 学校支援ＣＤより、下記２点についての説明があった。

① ５月の城北小サポーター活動実施報告

② 城北小サポーター顔合わせ・説明会報告

その他連絡

次回の運営協議会は、10 月 29 日（木）13 時 00 分から 14 時 00 分 授業参観、14 時 10 分から 15 時 30 分 学校運営協議会を城北小学校会議室にて開催する旨の報告があった。